

一般社団法人日本内科学会令和2年度第4回理事会議事録

1. 日時 令和3年3月23日(火) 14時～16時30分
2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室を開催場所とするWeb会議
3. 理事総数 20名 出席した理事の数 19名
出席者 [理事]
矢富 裕(理事長)、張替秀郎、金井隆典、黒川峰夫、南学正臣(副理事長)、森屋恭爾、横手幸太郎、駒津光久、下畑享良、長谷川好規(副理事長)、梶波康二、西 慎一、水野敏樹、三輪洋人、神田 隆、日浅陽一、筒井裕之、星野友昭、名越澄子の19名
[監事]
北園孝成、成田一衛、持田 智の3名
[その他出席者]
赤司浩一(第118回講演会会長)、稲垣暢也(第119回講演会会長)、草場仁志(第118回講演会準備委員長)、妹尾 浩(第119回講演会準備委員長)、横山彰仁(専門医制度審議会会長)、川名明彦(日本内科学会雑誌編集主任)、大平弘正(Internal Medicine 編集主任)、須永眞司(専門医部会会長)の8名
オブザーバー 高橋和久(内科系学会社会保険連合副理事長)、蝶名林直彦(内科系学会社会保険連合副理事長)、山本 学(日本医師会治験促進センター)の3名
欠席者 [理事]
秋田弘俊の1名

4. 議事の経過及び結果

矢富 裕理事長が議長となり、次の23議案について逐次審議することとなった。今回はWeb会議ソフトを利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、議事に入った。

第1議案 令和2年度事業報告

南学総務担当理事より、別紙事業報告があり、承認を得た。

第2議案 令和2年度会計決算報告および監査報告

駒津財務・組織管理担当理事より、別紙会計報告と、議長より監査報告書について説明があり、承認を得た。

第3議案 学術集会運営委員会関係報告

(1) 委員会年次報告

三輪委員長より、委員会の年次報告と第34回日本内科学会奨励賞の受賞演題について報告があり、了承を得た。また、今後の学術講演会の在り方、一般演題の在り方についてワーキンググループを作って検討しているとの報告があり、了承を得た。

(2) 第118回講演会について

赤司第118回講演会会長より、これまでの準備状況について報告があり、了承を得た。

(3) 第119回講演会について

稲垣第119回講演会会長より、これまで報告したプログラムのうち、招請講演の1題の演者が都合により変更となったこと、パネルディスカッションのテーマ及び演者、教育講演、市民公開講座について報告があり、了承を得た。

第4議案 学会在り方検討委員会関係報告

梶波委員長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。会員から提案のあった「我が国における成人のワクチン接種のガイドランス」のアップデートについては、接種に関して高い専門性を持つ学術団体が主体となるべきで、内科学会としてはこれに協働する方向性としたとの説明があり、了承を得た。また、健康寿命延伸に向けた複数の病態(疾病)を基盤とした疾患発症の1次予防にむけた取り組みについて検討するワーキンググループの報告と検討結果を踏まえた提言について説明があり、了承を得た。

第5議案 生涯教育委員会関係報告

西委員長より、委員会の年次報告と令和3年度の開催計画の報告があり、了承を得た。また、ワーキンググループにて検討してきた「講演に係る著作権の手引き」についてホームページに公開したとの報告があり、了承を得た。

第6議案 専門医制度審議会関係事項

横山専門医制度審議会会長より、専門医制度審議会と試験委員会、救急委員会、更新委員会、J-OSLER 検討委員会の年次報告があり、承認を得た。

第7議案 専門医部会関係報告

須永専門医部会会長より、令和2年度の事業報告および令和3年度の活動計画等について報告があり、了承を得た。

第8議案 学術誌編集委員会関係事項

(1) 日本内科学会雑誌編集委員会報告

川名編集主任より、委員会の年次報告と今後の発行予定等の報告があり、了承を得た。

(2) Internal Medicine 編集委員会報告

大平編集主任より、委員会の年次報告と電子ジャーナル掲載状況等の報告があり、了承を得た。

第9議案 総務委員会関係報告

(1) 本年度委員会報告

議長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

(2) 行政処分（令和3年2月12日発効）にかかる会員の処分について

議長より、厚生労働省の行政処分（令和3年2月12日日発効）を受けた会員3名に対して配布資料の通り処分したいとの提案があり、承認を得た。

第10議案 医療安全委員会関係報告

長谷川委員長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

第11議案 倫理委員会関係報告

長谷川委員長より、検討事項が生じなかったため委員会の開催がなかったとの報告があり、了承を得た。また、学術集会の演題募集にかかる研究倫理への対応については、日本医学会連合でガイダンスを作成中であり、それを踏まえて今後本会でも検討したいとの報告があった。

第12議案 AIプロジェクト委員会関係報告

南学委員長より、本委員会では『診断困難例ケースリサーチ J-CaseMap』の最適化を図っているとの報告があり、了承を得た。また、今後の開発方針については、開発時間とコストを考慮して専門性の高い希少疾患に特化した開発を進めたいとの提案があり、承認を得た。

第13議案 財務・組織管理委員会関係報告

議長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

第14議案 支部関係報告

星野支部担当理事より、令和2年度の支部代表者会議と令和3年度の各支部宛助成金額、各地方会の開催状況の報告があり、了承を得た。また、webを利用して開催する際に赤字になった場合の本部からの支援について質問があった。事務局から、まずは支部の剰余金で補填していただき、それでも足りない場合は本部にて補填するとの回答があった。

第15議案 令和3年度評議員候補者推薦について

議長より、大学からの候補者、教育施設からの候補者、その他の支部推薦の候補者および本会の運営に必要な者について総務委員会で審査を行ったとの報告があった。また、女性教授について対象を原則として常勤の内科教授とし、「病院教授」、「診療教授」、「臨床教授」を含めて大学の女性教授の有無について調査を実施した結果、令和2年度の大学37名、教育施設3名、支部推薦21名の計61名から令和3年度は大学42名、教育施設3名、支部推薦21名の計66名へと女性比率（8.98%→9.82%）がアップしたことの報告の後、別紙記載の通り令和3年度の評議員を委嘱したいとの提案があり、承認を得た。

第16議案 令和3年度理事、監事、各委員会委員候補者推薦について

議長より、各支部から推薦のあった別紙記載の方々に令和3年度の理事を委嘱するよう定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。監事については、退任する成田一衛先生に代わり梶波康二先生（金沢医科大学）に委嘱するよう定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。各種委員会委員については、各支部から推薦のあった別紙記載の方々に専門医制度審議会、学会在り方検討委員会、生涯教育委員会の各委員会委員を委嘱したいとの提案があり、了承を得た。また、学術誌編集委員会委員については提案どおり委嘱することです承を得た。なお、学術集会運営委員会委員、総務委員会委員については、規程の通り定例評議員会で選挙にて選出することです承を得た。

第17議案 理事会推薦理事の推薦について

議長より、男女共同参画の観点から理事会に関する規程第4条により理事へ推薦された名越澄子先生が任期満了となるため、引き続き男女共同参画の観点を踏まえて三谷絹子先生（獨協医科大学）を理事会推薦の理事として推薦したいとの提案があり、承認を得た。なお、三谷理事候補者については、本年4月に開催する定時総会へ諮ることとした。

第18議案 令和3年度関係団体への本会代表委員および専門委員について

議長より、別紙記載の方に令和3年度関係団体への本会代表委員および専門委員を委嘱することの提案があり、承認を得た。

第19議案 定例評議員会および令和2年定時総会の運営について

議長より、議案説明担当者の確認と関連会議の開催の確認があり、了承を得た。

第20議案 新入会者の件

議長より、令和2年12月22日から本年3月22日までに960名の入会者があったとの報告があり、了承を得た。

第21議案 会員資格喪失の件

議長より、定款第12条第1項第5号の会費未納による会員資格喪失の件を定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。

第22議案 関連団体関連事項

(1) 日本専門医機構関係報告

事務局より、日本専門医機構の年次報告、主にシーリングの件、サブスペシャルティ領域について、認定更新基準に関連した地域医療勤務の件について報告があり、了承を得た。

(2) 内科系学会社会保険連合関係報告

事務局より、内科系学会社会保険連合の年次報告があり、了承を得た。

(3) 日本医学会連合関係報告

議長より、日本医学会連合の年次報告があり、了承を得た。

(4) 国際内科学会議関係報告

議長より、国際内科学会連合の担当委員、国際内科学会議の今後の開催予定等について報告があり、了承を得た。

第23議案 その他

(1) 「医師の働き方改革における C-2 水準の対象技能（特定高度技能）に関する調査研究」について

名越理事より、厚生労働省から「医師の働き方改革における C-2 水準の対象技能（特定高度技能）に関する調査研究」に関連して、基本領域としてヒアリングを受けたことについて報告があり、了承を得た。

(2) 「医師のセカンドキャリアと地域医療を支えるネットワーク」について

議長より、「医師のセカンドキャリアと地域医療を支えるネットワーク」事業本部から事業への協力依頼が来ているとの説明があり、積極的に協力していくことで了承を得た。

(3) 「我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査」について

日本医師会治験促進センターの山本先生より、我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査の結果と今後の調査方針について説明があり、了承を得た。その際にツールで疾患名の読み替えのできないものについては、内科学会内にワーキンググループを立ち上げて整理していただきたいとの要望があり、対応することで承認を得た。

(4) 令和4年度診療報酬改定に関する提案について

高橋、蝶名林両内科系学会社会保険連合副理事長より、令和4年度診療報酬改定に関連して「人工呼吸器装着時意思決定支援管理料」と『「重症度、医療・看護必要度」にD項目（内科系医療ニーズ）を追加した評価基準の提案』、「注射処方料」について説明の後、この3件について本会を主な提案学会とさせていただきたいとの提案があり、承認を得た。なお、「人工呼吸器装着時意思決定支援管理料」については、理事から患者会等から医療費削減ため人口呼吸器をつけないと誤解されることを危惧しているとの意見があり、共同提案を依頼する日本呼吸器学会とよくすり合わせしていただいた上で本会を主な提案学会とすることで承認を得た。

(5) 日本造血細胞移植学会の名称変更について（アンケート）

議長より、日本医学会から「日本造血細胞移植学会」が「日本造血・免疫細胞療法学会」へ名称変更することについてのアンケートが来ているとの説明があり、名称変更を承認する旨回答することで了承を得た。

(6) エムガルティの最適使用推進ガイドライン（厚生労働省）について

議長より、厚生労働省からエムガルティの最適使用推進ガイドラインに関連して、専門医要件として日本内科学会の専門医の認定（認定内科医又は総合内科専門医）を有していること、という要件を追加してよいか、との確認の依頼について説明があった。エムガルティの安全性についてはかなり担保されていること、関連の専門学会が対応できるほどの専門医数がないことから、本会の総合内科専門医のみ専門医要件に加えることについて承認を得た。

(7) 今後の理事会等開催予定

議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和3年3月23日

一般社団法人日本内科学会理事会 議長（理事長） 矢富 裕

議事録署名人（監事） 北園 孝成

議事録署名人（監事） 成田 一衛

議事録署名人（監事） 持田 智